

会 議 録

1 会議名

令和7年度第12回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について（公開）

【自主的な審議】

- ・福島城に関することについて（公開）
- ・五智公園に関することについて（公開）

3 開催日時

令和8年3月11日（水）午後6時30分から午後8時05分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・ 委 員： 磯田会長、田中（美）副会長、古澤副会長、稲川委員、今川委員、
鴨井委員、柴山委員、関澤委員、関谷委員、田中（実）委員、
保坂委員、増田委員、丸山委員、美濃口委員（欠席者3名）
- ・ 資産活用課： 丸山係長、杉山主任
- ・ 事 務 局： 北部まちづくりセンター
内藤所長、勝島副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【勝島副所長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【磯田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：丸山委員、古澤副会長に依頼

議題【報告事項】上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について、資産活用課へ説明を求める。

【資産活用課：丸山係長】

- ・資料No.1「上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）」に基づき説明

【磯田会長】

今ほどの説明に対し、質問等はあるか。

【増田委員】

総合管理計画の基本は、無駄をなくすということだと思う。無駄というのは、市の財政状況を悪くしているものということになると思う。これから関係者や一般市民の皆さんに説明するときに、その前提条件をしっかりと説明していただかないと、単に「俺のところの施設を廃止するのか。」と捉えられてしまう。良くて悪くても、物の廃止については市民の抵抗が非常に強いので、しっかりと理由を説明していただく必要があると思う。無用の混乱が起きないようにお願いしたい。

中身に関しては、6ページにあるが、施設の開館時期や休館日を見直すということになっている。これは施設ごとか確認したい。すべての施設の開館時間や休館日を揃えるわけではなく、基本は施設ごとだと思う。例えば、どこかの施設で予約が全く入っておらず来館者もない、この後利用の予定もないような場合、閉館時間が8時になっていても7時に閉めるといった対応は可能だと思うので、柔軟な対応ができるような運用が必要だと思う。

休館日は週休2日、最低でも週休1日を基本とするとあるが、説明不足である。観光施設はこれにのっとらないと思う。基本的に観光施設を週休2日にして休館すると、遠方から来たお客さんが「なんだよ。」ということになると思う。仮にそうした事態になるのであれば丁寧な説明をしないと上越市のイメージが非常に悪くなるおそれがあるので配慮が必要だと思う。

【資産活用課：丸山係長】

開館時間を9時から21時とする件は、施設ごとかというお話はそのとおりである。現状では8時半から22時までという施設が多いが、利用実態としては、朝の早い時間

帯や21時から22時の夜間は、日や施設によっても差があるが利用がない施設もある。そうした状況を見ながら、利用実態に合わせて検討しなければならないと考えている。

市では、これまで利用実態がないところでも、条例で決まっているからと一律に22時まで開けているといったことが見受けられた。早いうちに利用実態に合わせて縮めるなどして無駄をなくし、市民の理解を得ていきたいと考えている。

増田委員からお話があったとおり、当日、予約や利用状況がない場合は、早めに閉めるという対応をしている施設もある。例えば、高田のラーバンセンター等は、基本は5時か6時までにして、予約があるときだけ開けるなど、柔軟に対応している施設もあるので、横展開しながら見ていき無駄を省いていきたい。利用実態がないということは市民の皆さんも利用していないため、時間を短くしてもサービスの低下にはならないと考えられるので、丁寧に見ていきながら検討を進めていきたいと思う。

それに伴い、観光施設についてもおっしゃるとおりで、週休2日は施設の性質上、満足できるものではないと思うので、そこは利用実態を見ながら、例えば平日の冬の利用が全くないのであれば、その部分は短縮したり、場合によっては休館日にしつつ、そのアナウンスは分かりやすく、外から来た人の不満にならないよう丁寧に対応していきたい。市内の施設全体で統一して図っていききたいと考えている。

【増田委員】

施設ごとに検討する際に、施設を管理している人や働いている人の意見をしっかり把握してほしいと思う。以前から「お客さんが誰もいないのに、19時まで開館になっているから電気を消せなくて困る。」といった声が現場ではあったのに、今ごろ問題が上がってくるのはおかしい。現場の声をきちんと聞いていれば、もっと早く改善できたはずである。よろしくお願いします。

【磯田会長】

ほかに意見を求めるがなし。

7ページの「三つの取組（令和9年度開始）のスケジュール（案）」について、適正配置は基本的には地域協議会への説明で終わる。ご意見は受け止めていただきながらも、パブコメや市議会所管事務調査で大筋が決まり、パブコメを経て決まっていくという流れになるかと思うが、適正管理については、諮問答申が令和8年7月頃となっている。ここの部分の適正管理の見方、我々が諮問を受けたときにどう答申するかということの中で、欲しい情報としては、白書の「3 公の各施設の現状」についてでは、直江津地

区にある施設の基礎データは示していただいている。適正管理にあたり、それぞれの施設がどう変更になるのか、あるいは「こう考えるからこうします。」というようなバックデータも含めて、施設ごとの変更する点の資料等をまず示していただきたいと思う。

スケジュールに戻ると、令和8年3月に協議会や利用者向けに基本的な考え方を説明とあるが、これが本日の会議だとすると、答申まで何も説明がないのかということになりかねない。来年度の7月に答申があるとする、少なくとも2回くらいは説明に来ていただかないと、まともな審議はできないと思うので、丁寧な資料と説明をお願いしたい。

使用料の部分については、報告ということで少し前に方向性についてはいただいているが、これも同じく、直江津区にあるこれらの施設がどう変わっていくのか、うみがたりの話は一度出てきているが、ほかの部分については「こう考えるからこうなった。」といったこともご説明いただければと思う。

【資産活用課：丸山係長】

磯田会長からご指摘があり、資料を見て重要な部分が抜けていることに気付いた。

諮問答申は7月からだが、その前に4月下旬から5月頃にかけて、具体的に、適正管理であれば、開館時間などの現状や、このような理由からこう考えているといった点を含めて、諮問の前に別途説明を行う予定である。適正管理と使用料も合わせて考えている。重要な点が抜けており、お詫びし訂正させていただく。

【磯田会長】

ほかに質問、意見等を求めるがなし。

これで質疑応答を終了とする。

ー 資産活用課 退室 ー

【磯田会長】

次に【自主的な審議】福島城に関することについて、事務局へ前回協議会後の進捗の報告を求める。

【石崎係長】

前回の協議会で、佐渡汽船ターミナル1階への福島城のジオラマ移設の方向を協議会で決定した。

そのことについて、福島城を愛する会の皆さんにお伝えし、移設の仕方等について検討していたところ、以前から愛する会の活動に協力していた江口市議会議員から申し出があり、トラックや必要な人手を出していただけることになった。移設日については、佐渡汽船と江口市議と愛する会で協議した結果、佐渡航路の運行が始まる3月20日より前がよいだろうということで、3月15日日曜日に移設することになった。なお、現在佐渡汽船ターミナル1階に置いてある空のショーケースについては、愛する会で処分費を負担して処分することになった。愛する会では、15日の移設に向けて資料館の資料の整理を開始し、市の文化行政課に、博物館等で引き取ってもらえるものがないか相談に行ったところ、文化行政課が現地まで来て確認した。発掘調査で出土した石造の五輪の塔や、「たでんま」という、田んぼが泥だった地域で使われていた泥の上を引ける船のようなもの、発掘当時の写真などは市で引き取ることになり、引き上げ済みである。

その他の資料は愛する会で分類を行い、愛する会で作ったパネルや福島城に関する説明資料、それ以外に港町の過去の歴史に関係する写真や当時の切り抜きなどはジオラマを運び出す前日に愛する会の方が数人集まって運び出しを行う予定で、14日には資料館の中がきれいになる予定である。このような形で資料の整理とジオラマの移設が実現する見込みとなった。協議会で検討した場所でもあるので、15日のジオラマ移設についてはお時間があればご覧いただきたい。作業は9時過ぎからターミナルで始まる予定である。人手は足りているそうなので、見学になると思う。

【磯田会長】

質問等を求めるがなし。

基本的には愛する会の方々が、積極的に資料の整理や協力してくださる江口市議との関係の中でうまく動いてくださり、この運びとなっている。地域協議会が、これ以上注力することは今のところないと考えているが、何らかの形で相談があれば、会議の中で議論していきたいと思っている。

これで今年度の自主的審議、福島城に関する件は終了にしたいと思うが、異議はあるか。

(異議なし)

今後、必要なことは報告していくし、事務局から会のサポートに入ってください、適宜情報交換をしていただく。

続いて【自主的な審議】五智公園に関することについて、事務局へ説明を求める。

【石崎係長】

前回の協議会では、次に五智公園に関することについて協議を進めていくこととした。本日は五智公園について、どのようなことを協議していくとよいかを話していきたいと思う。

・資料No.2「五智公園に関することについて」に基づき説明

冒頭で、以前の協議会で、五智公園に関してどのような課題があり、どのような方向性で考えていくか話をしたときに、ここに書いてあるとおりのことを決めたが4つの項目について、課題や方向性をざっと挙げただけで、1つ1つの課題について深く議論できていなかった。

五智という非常に広いテーマでもあるので、事務局としては、まだ方向性が定まっていなと思っている。今回は会長の采配のもと、どう動きだしていくかというスタートアップの部分をやっていただきたい。

【磯田会長】

事務局が話したように、五智公園に関することという大きな枠で自主的審議に入り、4つの項目の中の1つとして捉えてきたが、これを議論していくとなったときに、何をどうしていくのか、何が本当の課題なのか、地域協議会として議論すべきことなのか、団体の困りごと解決という側面では、協議会の議論としては第一義ではないのではないかなというようなこともあり、五智公園に関することをやると2か月前からお話ししているので、皆さんのお考えをお話していただきながら、地域協議会の自主的審議として何をどう検討していくのか、議論していくのかということを、今日の意見交換で大筋を見出したいと思う。

資料No.2「これまでの経緯」の一番下に、「五智公園に関すること」という大きな括りになっているが、検討の方向性としては、五智公園を含めた五智エリア全体の課題解決や、足りていない部分に注力したい、しなければいけないことを考えていきたいと思う。皆さんの忌憚のないご意見をいただきたい。皆さんに一言ずついただきながら進めていきたいと思う。

まず関係団体として、五智歴史の里協議会さん、五智公園を育てる会の関係者である関澤委員と柴山委員から、お考えや補足事項、ご意見等を含めてお聞かせいただきたい。

【関澤委員】

五智公園を含めた五智全体というお話があったが、まさにそのとおりの気がして

いる。

神社仏閣が五智には多数あり、親鸞聖人上陸の地などもある。それらを含めて審議していただければいいのかなと思うが、いかんせん、先ほどの上越市の公共施設の話にもあったが、一番のネックはやはり人口減少である。こればかりは、この会で話してもどうにもならないように感じている。五智公園に関しても、ゴーカートのあるほうは、五智公園を育てる会は関与していない。ゴーカートは市の職員や関係者が管理しているということなので、五智公園を育てる会は、海側にいる生物や植物などの管理をしているところである。

歴史の里協議会は、先日石崎係長と事務局長と私の3人で、今日からの件について事前に話をした。年々入館者が減り、大型バスも停まらなくなっている。ボランティアも高齢化していることから、問題はたくさんあると感じている。今は地元の人のボランティアが少なく、直江津区以外のボランティアの方が多くを占めている。私も昨年10月に会長になったばかりで、まだ詳しくはない。

ひまわり會は、木村会長が中心になって、海岸線にひまわりやいろいろな花を植えたり、清掃をしているグループである。見た目にはあまり問題がなさそうだと感じている。

【柴山委員】

五智公園へは、小学生のときに遊びのテリトリーでよく行った。集合して、国分寺から山へ毎日のように遊びに行った。

最近は全然興味がないのと、足が（悪くて）あそこまで行って、歩いてということが困難である。今年になり、五智公園の話をするということで、現場を一度見てこないといけないと思ったが、雪で遠のいてしまった。

あそこには、昔から子どもの小さな野球場があったり、山へ登るところにはきれいな八重桜が咲く。八重桜の季節に、観光としてPRできればと思う。何十年も前になるが、町内会の一環でハイキングをしたり、上へ行くと展望台の下にある池のそばに芝生公園のような場所があり、そこで食事会をして帰ってきたことを覚えている。町内会長としても、そういう企画があってもいいのではないかと考えている。

毎年春と秋に、五智地区運動普及推進員のウォーキングがあるので、五智公園を皆さんに知ってもらうためにも、そのウォーキングのコースに入れてもいいのかなと思っています。例年、春も秋も春日山まで行って帰ってくるコースだが、時間を短縮してでも、春は五智公園に行ってごみ拾いをする、秋は春日山へウォーキングに行くというように、

目先を変えるのもいいと思っている。

近々、五智公園に行きたいと思っている。

【磯田会長】

一通り皆さんの意見をお聞きしたい。

関谷委員から願います。

【関谷委員】

柴山委員もおっしゃっていたように、五智公園だけにこだわるのではなく、五智全体、歴史のまちというところで捉えるようにしたほうがいいのではないか。

【鴨井委員】

以前、皆さんで回ったのは12月だったと思うが、環境としてはよくない時期だった。年間を通じて、五智公園が何をやっているのかがよく分からない。例えばこれからの桜の季節に何か催し物をしているのかどうかも分からない。季節ごとに人を呼べるようなイベントをやっているのかどうか。何もないと人は集まりにくい。それを検討していくのが一番いいのではないかと思う。

【磯田会長】

五智歴史の里会館では八重桜の時季に「八重桜まつり」を毎年開催しているが、それ以外のイベントはあまり思いつかない。観光の種になるようなシーズは十分あると思うので、それをどう磨いていくか、誰が活かしていくかという話になってくると思う。

【今川委員】

私は五智公園を育てる会の会員だが、去年は体調が悪くて一度も出られず申し訳なかった。

西本町1、2丁目町内会では、10月にいつもウォーキングを行う。日曜日なので、五智公園を育てる会の人たちが活動している。来年度からは手伝いに行こうと思っている。

【稲川委員】

我が家は、五智国府のど真ん中にあるので、しっかり思いを伝えたいと思う。

私は、五智公園を育てる会の会員だが、去年は骨折して参加できなかった。

高齢化が進んでおり、12、3人で五智公園の手入れをしてくださっている。あれだけの広い五智公園をその人数ではとても回り切れない。五智公園を育てる会のこともそうだが、直江津港から五智国府エリアが、これほどストーリー性が高い場所なのに、ど

んどん廃れていってしまうのか本当に寂しい。小京都のような趣のある場所も結構ある。歴史の里さんにもお土産や休憩所はあるが、お土産というものもなかったり、観光バスも来るが、年に数台で数える程度しか来ない。観光なのか地元が利用するのか中途半端である。歴史があつて、日本海、山、神社、仏閣がこれほど揃っている。直江津にも安寿と厨子王の碑があり、直江津から五智国府のルートをなんとかしていきたい。少し前までは人力車を走らせたいという思いもあつたが、思いだけで終わってしまった。これから、皆さんのお力でなんとかなる気もしているので、お力添えをお願いしたい。

【田中（実）委員】

言いにくいことを言わせていただくが、五智公園を育てる会の皆さんが何をやりたいのか、正直私にはわからない。今日お話できるか迷ったが、チャンスをいただいたので（お話する）。

私が20代の頃は、まだ五智公園ではなかったが、今の五智公園からずっと沢は田畑だった。この地図を見ると、用水が載っていないが、滝寺、岩木、春日山、中門前、五智、用水が一本流れてきている。山をどのように流れてきているのかを、考えるべきではないかと思う。

2、3年くらい前に、五智の通りにある鏡池に、尻尾が金魚で胴が鯉の「鉄魚」という魚が一匹いたという話を聞いた。滝寺から中門前へ用水が流れてくる途中に大きな池があるが、そこにも鉄魚が住んでいる。多分その用水を伝わって、その池へ流れ込んだのではないかと考えている。

何を言いたいかというと、いろいろ皆様ご苦労なさって、草刈り等されておられるようだが、何を主体的にやるか、きちんと育てる会の皆さんから出していただいて、その中でいろいろ協議をすればいい周遊コースになると思う。

【保坂委員】

五智公園は、私の町内も春に八重桜を見るということでウォーキングのコースに入れていた。ただ、少し時期が遅くて散った後だったため、現在はコースを変更している。行ったときは、きれいに整備されていて良いと思う。

どうするかという点は、先ほども話があったように、観光に力を入れるのか、地元の人が利用する方向にするのか、あるいは五智公園だけでなく五智国府全体を考えると、何を捉えてやっていくのか幅が広い。ここだということから入っていったほうが捉えやすいと思うが、私はどこから入っていいかわからないので、協議していけ

ればと思う。

【増田委員】

五智の地域は、歴史と魅力のある地域ということで、皆さんが考えておられるとおりでと思う。もう1つは、公園なので市民の憩いの場にもなっているということである。ただ、育てる会は公園全体を見ているわけではなく、主として一部にある植物を一生懸命やっておられるということで、愛着はあるのだろうが、全体の目配りをしているわけではない。公園自体は、都市整備課が整備計画を持ってしっかり整備しているので、それ自体は問題ない。地域協議会としても都市整備課と意見交換した経緯があり、前期の委員のときにもしっかり意見交換をしているので、そのあたりはいいが、皆さんが感じておられるように、市民の認知度が低いというのは問題だと思う。というのは、誰も五智公園をPRしていない。整備は都市整備課がやっているが、PRは誰もやっていない。そこに大きな問題がある。市民の憩いの場としてしっかりPRしていく必要があるのではないかと考えている。地域協議会としては、公園だけでなく五智地区全体のことを考えて、歴史の里や昔からの歴史もあるので、それを踏まえて検討していく必要があるのではないかと思う。

【丸山委員】

私も、五智公園だけを考えるのではなく、五智国府エリアとして考えた方がいいと思う。私はこちらに帰ってきて17年になるが、小学校、中学校のときはよく五智公園に行った。町内会の行事で遠足に行ったり、友人たちとゴーカートに行ったり、売店でヤクルトラーメンを食べたりして、小、中学生にとって楽しい場所だったと思う。

五智6丁目には居多神社があり、夏には講社大祭や、五智6丁目青年会が中心になって神輿渡御が、5月には五智祭りもあり、神事もしっかり行われている。こちらに帰ってきてから知ったので勉強になった。

それから、山車が5基あったと思うが、五智祭りや新水族館オープンの際にも展示しており、そういったすばらしいものがあるということも再発見したところで、本当に魅力ある地域である。

ただ、増田委員がおっしゃったようにPRは全然していないので、今は市民もほとんど使っていないのではないか。その辺りがポイントになると思う。

【美濃口委員】

2020年の雪深い時期に、この町に着任した。一番初めに行った場所は五智公園で、

その後居多神社に向かった。

この場で申し上げたいこととしては、行くまでの間は迷うことなく行けたし、歩く時間も特に不便を感じることはなかった。風景や周りの情景、柿がつるしてあったり、季節感や町の文化を感じてとても感慨深かった。

お寺や魅力など、そもそもの起点の話になるが、公園や人が通う場所には、やはりお店が必要だと感じている。店がないわけではないと思うが、私が歩いた道が悪かったのか、五智1丁目から五智公園に向かうまで、山麓線を渡った瞬間からお店がなくなってしまったと感じた。そういう点も1つのポイントになるのではないかと。

五智公園の周りに住んでいる方と交流させていただく中で、駐車場や設備など、町の方々が不便に感じている以上、来訪者も不便に感じるのではないかとという点を今後の話題にしていきたいと感じている。

先ほど稲川委員がおっしゃっていた人力車は、運行可能である。こちらで動く。人力車自体は用意できていて不可能ではない。高田の観桜会のようなスケジュールの大きなところとバッティングするかもしれないが、八重桜なので観桜会と少しずれたタイミングや観桜会の前であれば、あとは予算次第だが、十分検討の余地に値するような取り組みになると思うので、何でも言っていただきたい。実現しましょう。

【田中（美） 副会長】

五智のことを考えてみたが、先ほど保坂委員が言われたように、漠然としすぎていて、皆さんのお話を聞いて改めて考えてみても、何をどうすればいいかさっぱりわからない。この場は、いつも扱うことが大きすぎる気もするし、全部を見たほうがいいようにも思うが、そうすると問題点が難しすぎて、何をどうしたら変われるのか、地域協議会で何に関われるのか、何ができるのかが本当に難しい。

私は、いいものがたくさんあるのに、人口がだんだん減っていて観光客も少なくなると思うので、まず地元の方、上越の人たちに良さを知ってもらうために、ちょっとした軽いツアーをやってみてはどうかと思う。

それは観光なのか、神社を中心にするのか、全体を見るならどうなのか。先ほどの話では、五智公園を育てる会の方は育てるために来ているので、それはそれでどうなのか。本当に問題点が多くて難しいと感じた。

【古澤副会長】

皆さん、漠然としていて、五智公園を育てる会で何をやったらいいのか迷っていると

同時に、分からない部分があるのではないかな。

この資料の中に、五智公園に関する課題、検討の方向性が出ている。課題については、注目度が低いということは、今の話の中にも出てきているように事実である。検討の方向性については、五智エリア全体としてのあり方を考えていくということで、五智1丁目から国府1丁目まで、いろいろな神社や仏閣などを市民に宣伝していくことが大事だと理解したが、地域協議会としての落としどころ、どのように取り組んで、最終的な目的を何にするかを決めない限り、話が右往左往してしまうのではないかなと思う。

福島城の関係についても、結局は落としどころだった。ジオラマ等を配置することができたし、最終的には、資料もいろいろな部分で活用できる、これが落としどころだったが、それが分からないまま議論してきたために、右往左往した部分もあった。

今日は皆さんの話を聞いて、考えていることはみんな一緒だ、もっと広がったと思ったが、今後の協議会では、地域協議会としてどのような落としどころ、最終結論にするかを考えるといいのではないかなと思う。

【磯田会長】

私の思いをお伝えする。

五智エリア全体を考えるとということで問題提起をさせていただいた。

地域協議会として、どこまで何をしていくかという点は、協議会自体はプレーヤーではなく、実際にプレーするのは、各市民団体や住民、地域協議会と強く連携したRMOのような組織を立ち上げて、実行していく組織を作り、トータルで全体を見ながら動かしていく、マネジメントしていく組織が必要ではないかなと考えている。

現段階で地域協議会は、考える組織であり問題を整理する組織だと捉えている。そうであるとすれば、人力車もOKだが、1つ1つのアイデアに地域協議会が深く踏み込んでいくのは、本来、地域協議会としての議論のあるべきところなのではないかと思う。何か1つ試してみるのとは分らないが、そこは協議会がやる、協議会内の有志がやる、持っているそれぞれの団体が注力して進めていくという動きになるべきだと思う。

では、地域協議会は何をするのかだが、以前、協議会の検討の方向性や直江津区としての議論の指針をA3のペーパーで整理した。これは第7次総合計画の課題や問題 이슈を1つ1つ直江津区に落とし込んだときに、何が課題になっているのか、どうしていったらいいのかを整理したマトリックスの表を作っている。

先ほどの美濃口委員の話のように、五智における商業、経済活性化という話をどう捉

えればいいのか、あるいは観光という視点で、歴史・文化の伝承・継承を観光化しながら歴史観光をどう立ち上げていくか、五智公園、交通公園を含めた、昔のありようとは違う、公園の今あるべき形があるはずで、振り向かれなくなってしまった今の五智公園をどうバージョンアップしたり、新しい魅力を作りながら市民に振り向いてもらえる、市民がそこで子育てしたいと思えるような場所にしていくかといったことも議論の種だと思う。

環境という切り口も総合計画の中にはあって、それは直江津プライドがやっている天王川のクリーン活動やひまわり會がやっている海岸線沿いの植栽活動なども含めて、トータルに五智エリアをどうしていくかを議論するのがこの場だと思っている。1つ1つの課題の切り口は、すでに7次総で分けられているので、それに対して五智はどう考えるのか、観光という切り口であればどんなことをしていったらいいのかといった中項目くらいで整理をつけていくのが、協議会が考えるべきことだと私は思っている。その中項目をより深掘りしていく団体や、この中での有志がやりたいと育っていけば、それぞれの活動が広がっていくのではないかなと思う。私の団体としては、昨年、歴史の里で文化講演会を開催したが、神社、仏閣の観光化や新発田で行っている朝寺の会のようなお寺の魅力を市民に向けてもっと発信していくようなことをやりたいと個人的にも考えている。やりたいことと、全体のマスタープランの中でのやるべきことが整合していく、市の予算と結びつくような姿を作っていくのが協議会ではないかなと思っている。

難しいことを言っているように思われるかもしれないが、そうしたことを整理するのが協議会の役割だと思う。皆さんが、今いろいろな意見を出してくださったのは、どれも良い意見で、五智全体を考えましょうということはオーソライズされていると思う。

育てる会を注力するのではないということも、皆さんの共通認識としてあるのではないかなと思っている。

【古澤副会長】

今の会長の話は皆さん理解できたか。高度な話だと思う。

まとめてもらって、どうなのかということをやっていないと、話の中を皆さん掴めていないと思う。皆さんが理解できているかどうかにかかっていると思う。理解できないままスタートすると、同じように堂々めぐりになってしまうと思うので、問題を絞り込んで進めたらいいのではないかな。

【磯田会長】

私の提案だが、五智地区に関する事を、この場で自主的審議にしていくという点を再確認したいということが1点。そして、これから進める中で、今回は五智エリアの観光や歴史文化について議論する、どんなことが考えられるか、こういうアイデアがあるというような具体的な話まで含めて議論する日があってもいい。今回は交通公園を含めた市民の公園とはどういうことか、どんなものがあれば地域の人が喜ぶか、商業的に何か良いことがあるかといった課題のテーマを絞って議論していくということをやりたいと思っている。

この問題は、今までずっと引っ張ってきていて、1回や2回の議論で終わるわけがない。大きな括りの中で五智公園を捉えて議論していくことを、何回かやってはどうかと提案したい。

意見はあるか。

【保坂委員】

私も先ほど話したとおり、ただ漠然と何をやるのかわからないままやっても、何も意味がなくて時間が過ぎるだけだと思う。

今ほど会長が言ったように、テーマごとに決めていき、全体を考える。テーマを決めてから進めないと、これからテーマを決めるといっても時間をとられるので、できればテーマを決めていただいて、今月はこれ、次はこれというような形で進められればいいと思う。

【丸山委員】

会長から話があった、第7次総合計画の内容がよくわかっていないので、五智地区編だけでも事務局で資料を用意していただけないか。それを見れば、ある程度テーマが出てくると思う。

【磯田会長】

前期の協議会で直江津区の検討の方向性が整理されている。それを各委員に回してもらい、そこに書いてある項目で五智を考えたいと思う。

事前に事務局と正副会長会議で協議し、どの順番でどう考えるか、何が重点課題なのか、それについてご意見をいただくといった、議論しやすいテーマをある程度絞りながら議論しやすい形にして、小さな単位のほうが意見を出しやすいということだったので、次回からはワークショップ形式にして、数回か繰り返して方向性を出していきたいと思う。

それでよいか。

(委員同意)

では、自主的審議については以上で終わりにする。

その他に移る。

【石崎係長】

・次回協議会：4月14日（火）午後6時30分から

【柴山委員】

うみがたりの料金改正について市の方が説明に来られたときに、うみがたりのトイレの件を私が質問し、答えは「検討します。」だったと思う。その後特に話はないが、新市長は公共トイレを使いやすく、便利で今風にすると謳っている。資料を見るとうみがたりの年間入館者数は35万5,000人、約36万人くらいだと思う。一番の時期は4月の緑の日から5月の連休、夏休みに入る24、5日頃、お盆、そのときが相当混む。おそらく5月の連休に入ると、相当大勢の人たちがまた来ると思う。そうすると町内から「何とかしてくれ。」と何度も言われる。何回も教育委員会に言うが「分かりました。対処します。」ということで、看板を新たに立て替えると言うけれど、全然一つの看板も立っていない。一体どうなっているのか。増田委員が言われたとおり、生理現象はどうにもならない。そこにあれば利用できるはずなのに、我慢できなくなるとそちらのほうへ行って用を足す。そこにはお宮さんがあり、そのお宮さんの春祭りが4月29日である。連休にかからないようにセッティングしているが、その2日前にあそこに仮設トイレを作る。町内の人たちが利用する前に、うみがたりの来館者が既に利用しているのが現状なので、地元町内会長として市に結果を聞きたい。そこまで動いてくれないなら地主として契約しない。そこまで強く言わないと行政が動かないのであれば、組合長としてハンコは押さないと強く言ってほしい。

【内藤所長】

今のお話は教育総務課に話し、すぐに回答するように伝えておく。

【柴山委員】

是非お願いします。私は苦情処理係ではない。

【磯田会長】

以前、田中（実）委員から、新年会をやらないかという話があった。新たに委員が2名参加され、事務局の異動もあるかもしれない。例年は、歓送迎会のような形で実費で

宴席を設けているが、新年度会ということで親睦を深めてやっていきたいと考えている。
そのような機会を設けることについてご意見をいただきたい。やったほうがよいか。

(委員賛成)

歓送迎会も含めると5月あたりになるかもしれないが、その段取りで進めていきたい。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。